

愛知スキー協通信 No.356

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2024年10月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801(Fax 共)

e-mail:aichiskikyokai@yahoo.co.jp
http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：深雪 スキークラブ

東海ブロックスノーフェスティバルはすばらしい

競技部長 澤田安利

第27回を迎えようとしているスノーフェスティバル、スノースポーツを楽しめる最大の祭典として東海ブロックの総力を挙げて取り組んできました。初めて参加した人の多くの感想が、「色々なことをしているんだ、すごいね。」というようなものです。今回も実行委員会を重ね、より楽しいフェスティバルをめざしています。

大回転競技会は、スキー協ならではの大会です。本当に誰でも参加できる大会にしようと工夫していきました。幼児等は後ろから紐を持ってコントロールするのも可。平湯温泉スキー場のファミリーゲレンデ(初級コース) にポールに当たることが怖いロングポールでなく、スノーボードの旗門で当たってもいたくないソフトラバーポールを使用して優しいコースをセットしています。それでも技術の差は出るんですね。順位が低くても何らかの賞品がゲットできます。いいものが多いですよ。とにかくゆっくり安全に乾燥することが一番、慣れてる人はハイスピード。まず参加してみよう。こんな大会他にはありません。

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



連続写真の販売(1000円)があります。追加料金を払ってデータをもらいます。その写真です。すごく技術がわかります。

ビデオも有効ですが、よりはっきりわかります。①からターンが始まり②で板がたわみよいターンです。たわんだ跳ね返りの力を使って③④の切り替えへの動作につながっています。⑤⑥で重心を切り替え⑦で次のターンへととなります。アンギュレーションもしっかりあり、切り替えた場所・ターン位置も大変良いことがわかります。データをよく見ると少し後ろ気味なこともわかります。人と見て話し合うこともできます。

第16回 東海ブロックセミナー参加報告

9月13日静岡の三ケ日青年の家で東海ブロックセミナーがあり、参加しました。愛知のスキー協会からは安藤の他、澤田さん、戸川さん、寺田さんの4人が参加しました。刈谷ハイウェイオアシスで集合して、そこから澤田



車に乗り合わせ、戸川さんおすすめのウナギ屋さんに向かいました。浜松のウナギは江戸前なので蒸してあるから柔らかいけど、香ばしさがなくてか文句を言いながらも、浜松のウナギを存分に味わってから、三ケ日へ向かいました。三ケ日青年の家は、浜名湖畔の風光明媚なところであり、外国のリゾート地の別荘のようなどともかわいい建物でした。ただ、スリッパが貸してもらえないのと、ゴミ箱がないのが難点でした。スリッパは持ってくるようにとの連絡はあったのですが、体育館シューズがあるからいいかなと思って持って行かなかったのです。でもずっと体育館シューズというのはさすがにくつろげなかったです。ゴミ箱がない点についても節税の為か、環境負荷を減らすためか理由はわかりませんが、ことのほか不便でした。公共施設はゴミ箱がないところが多いのかもしれない。これからは自分の分のごみを入れる袋は持っていったほうがいいですね。

1日目は健康マージャンに参加させていただきました。以前働いていた時に、同僚のマージャンに何回か行って観戦したことはあったし、昔流行ったテレビゲームのマージャンゲームはたびたびやったことがあったので、なんとかできるかなと思っていたのですが、テレビゲームだと杯を並べるのも、上がりも点数を数えるのもコン



ピューターがやってくれていたもので、実際に全部自分でやるとなると、うまくいかず皆さんに迷惑をかけてしまいました。来年までに杯の並べ方や点数の数え方ぐらいはわかるようにしておこうと思いました。もう一つの別のグループは屋外でのウォークラリーでした。センターの周りを指示書にしたがって歩き、コース上のグラウンドゴルフをしたり、設置された物に関するクイズをして順位を争いその後3キロほど話しながら歩いたそうです。

2日目は午前中にダブルハルカヌー、午後からボッチャを楽しみました。普通のカヌーは一台に一人か二人乗りですが、ダブルハルカヌーは10人近い人数が乗れて、力を合わせて漕ぎます。うまいグループのカヌーはかなりのスピードで、爽快そうに水の上を走っていました。私はカヌー体験は今回で3回目なのですが、漕ぐだけで一杯一杯、爽快な気分を味わうにはまだ程遠い状態です。いつ



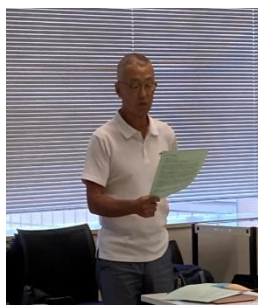
かはコツをつかんで、爽快な気分を味わいたいと思いました。この大人数が乗れるタイプのカヌーはこの辺では浜名湖にしかないそうで楽しい体験でした。

ボッチャはついこの間クラブ行事で初めてやりましたが、他の人たちも初めてに近い人が多いらしく、パラリンピックのようにオーと感心するような腕前の人はいませんでした。たまたま私の一投がいいコースで止まり、他の人の投げた球もコースがよくて大量得点となり、決勝戦で優勝してしまいました。白熱するゲームではなかったのですが、優勝できてよかったです。30人ぐらいの参加者の内ほとんどの方が年配なのか、スキー協会のセミナーに比べてゆったりしていて体を鍛えるまではいきませんでした。初めてお会いした人も多く、楽しく過ごしました。(深雪スキークラブ 安藤 洋子)

クラブの枠を超え横のつながりで全体を活性化

全国山スキー部会 9/7—8

2024全国山スキー部会が愛知健康プラザに於いて9月7日、8日の2日にわたり開催されました。議長はぶなの木スキークラブの藤田信さんが選出されスムーズに議事が進行されました。第1号議案の23-24シーズン活動報告、2号議案の23-24シーズン山スキー行事实績、会計報告4~5号議案の各プロジェクトの進捗状況が報告され、質疑応答の後、承認されました。(今後プロジェクト



全国山スキー部長
島崎さん

はPと表記)

2日目は第6号議案24~25シーズン山スキーリーダー状況報告、第7号議案山スキーリーダー規定改定について質疑応答がなされました。山スキーリーダー規定については以前の規定では現在の状況に対応できない状態になってきており改革する必要がある、現在は道半ばで、出来るところから改定していく。山スキー部では気候 P、規程改革P、50周年行事P、チェンジP、23-24 シーズン行事Pと5部門のPが有り各Pが年度ごとにメンバーを入れ替えて活動を行っていくそうです。プロジェクトが順調に活発に行われる事を期待しています。(佐藤)

私の印象とまとめ: 去年の神戸に引き続き 2 回目だが、分かりやすく、目標が

はっきりしている。

- 1) 各クラブの枠をこえて、共同企画、共同参画、横のつながりを作っていくこと。
- 2) 50周年記念企画を成功させる計画の発表。50周年に向けて盛り上がりつつある。
- 3) 山スキーリーダーについて 名誉山スキーリーダーの創設、山スキーリーダーの門戸を広げるなどの改革。
- 4) 年齢とともに変化していくこと部員の声も聞き入れていくなどの柔軟な対応が期待できる。
- 5) 新たな仲間を増やしていく、各クラブの枠を超えることにより、全体が活性化していく未来に期待できる。(岡本)

今年は愛知で開催ということで全国の参加者に愛知のいい所を紹介しようと5つのお楽しみ会を企画しました。紙面の都合上2つ記載します。(他にジブリパーク、愛知健康の森、三河湾ヨット)

①【有松の街と喫茶】 (石橋)

9/7(土)午前9時、有松の絞り会館に集合して、旧東海道沿いの有松の町並みを、地元のボランティアの方のご案内により、総勢8人の参加者で巡りました。有松は古くから絞りを作り商ってきた街で、そのことを偲ばせる古い街並みが今でも多く残っています。ボランティアさんのお手製の資料で町の説明を受けながら地域の歴史を学びました。名古屋にもこんな素晴らしいところが残っているなんてほとんど知られていないのではないのでしょうか。遠方からの参加者にも大変喜んでいただけたようでした。町並みの保存に取り組みされている地元住民の方々、ご案内くださった地元ボランティアの方々に敬意と感謝を表したいと思います。

②【常滑やきもの散歩道】 (浅野)

9/6(金)13時、常滑駅に参加者4名が集合し、陶磁器会館へ移動。ここで地元のガイドさんと合流し、早速街歩きに出発した。ガイドさんの案内で、まず北山橋の巨大ネコと写真を撮り、所々に残る窯や煙突の遺構を見たりダンゴやソフトクリームを食べたり陶芸作家のギャラリーを覗いたりしながら歩いていく。瀧田家、土管坂、登り窯など観光スポットの合間にも、陶器、急須やパンなどの小さなお店がそこそこあって、昔懐かしい散歩道だった。一旦陶磁器会館に戻り、車でとこなめ陶の森に移動し資料館・研究所を見学した。天気良すぎて、この後喫茶店に直行した。



北山橋の巨大ネコと一緒に

世界一のプラネタリウムでお昼寝もあり

深雪スキークラブ 名古屋市科学館 9月16日(敬老の日)10時～ 参加者9名



参加者のみなさん

3連休最終日、敬老者無料(名古屋市民)のためか、とても混んでいました。特別展示(毒)・常設展示・プラネタリウムを選ぶことによって入場料が違うので、個々に入場券を購入。プラネタリウムの整理券はすでに5番目(14時～)。特別展から入場して、それぞれのペースで観覧するので、数人のグループに分かれ、昼食をとり、常設展を見、プラネタリウムを見ました。プラネタリウムの後、解散しました。

久しぶりに科学館に来ました。毒がテーマの特別展は、子供にはそぐわないかと思っていましたが、結構子供にも受けていました。最初に科学館内のレストランに行ったけど、すでに満席だったので、近くの牛かつ店で食べました。

昼食後はプラ寝たりウムになってしまいました。常設展はいろいろ工夫してあり子供には楽しいところなので、ぜひ、家族連れで楽しんでください。(近藤)

始めてプラネタリウムに入る。広く天文のマシンが大きく椅子がリクライニングになり、星の輝きも本物に近く素晴らしく、世界一だった。(富野)

毒の特別展は面白かったです。久しぶりのプラネタリウムも、いつもは寝付きが悪いのに半分くらいは寝てしまい、入眠パワーに感服しました。寝られない時はプラネタリウムがオススメ 😊 (宮田)



いつも目にするサンショウの幹、エゴノキの実が毒

うん十年ぶりに科学館を訪れました。展示内容も新しいのですが、マニアックな物が少なくなった気がしました。特別展毒も俺知ってること多いぞと感ずるやばい爺さんでした。(戸川)

今後の予定

東海ブロック第42回スキー交流学習会 誰でも参加できます。

日時:10/19(土)、20(日) 会場:なかちゃんハウス 江南市力長町神明 107

内容:10/19(土)13:30～技術講座 講師:野瀬 孝さん(全国スキー協技術部長)

10/20(日)9:30～組織講座 講師:佐藤 実さん(東海ブロック長)

13:00～15:00 安全講座 岐阜県広域防災センター 体験学習

参加費:2日 5000円 1日 3000円

締切:10/10

申込先:浅井千恵 090-5108-3402 asaichie@ma.medias.ne.jp

山スキーのつどい 11月15日(金) 19時～21時 ウィンク愛知(締切11/7)

東海ブロック初滑り 12月14日(土)～15日(日)菅平高原パインピークススキー場